

財政収支(1-7月)

(1) 1-7月の歳入は前年同期比34.0%増、税収は同41.2%増。歳出は前年同期比18.1%増。
 (2) 結果として1-7月の財政収支は783.44億リラの赤字(前年同期比43.7%増)、プライマリーバランスは361.64億リラの黒字(同160.8%増)。

データ:財務省 単位:億リラ

歳入・歳出内訳	2020年1-7月(A)	2021年1-7月(B)	増加率 ((B-A)/A)
歳入(a)	5,419.40	7,260.96	34.0%
税収	4,119.62	5,816.87	41.2%
所得税	842.05	1,127.98	34.0%
法人税	499.33	707.63	41.7%
付加価値税(国内及び輸入)	1,052.89	1,896.61	80.1%
特別消費税	995.05	1,141.83	14.8%
その他税収	730.30	942.82	29.1%
税外収入等	13.00	14.44	11.1%
歳出(b)	6,810.87	8,044.40	18.1%
人件費	1,717.16	2,011.53	17.1%
物品及びサービスの購入	418.80	472.84	12.9%
経常移転	2,979.94	3,375.60	13.3%
資本支出	404.59	473.13	16.9%
支払利子(c)	797.13	1,145.08	43.7%
その他歳出	493.25	566.22	14.8%
財政収支(a-b)	▲ 1,391.47	▲ 783.44	43.7%
基礎的財政収支(a-(b-c))	▲ 594.33	361.64	160.8%

経常収支(1-6月)

(1) 1-6月の経常収支は、136.01億ドルの赤字(前年同期は212.26億ドルの赤字)。
 (2) 1-6月の貿易収支(物品)は133.66億ドルの赤字で前年同期から赤字幅縮小、旅行収支は40.87億ドルの黒字で前年同期から黒字幅拡大。

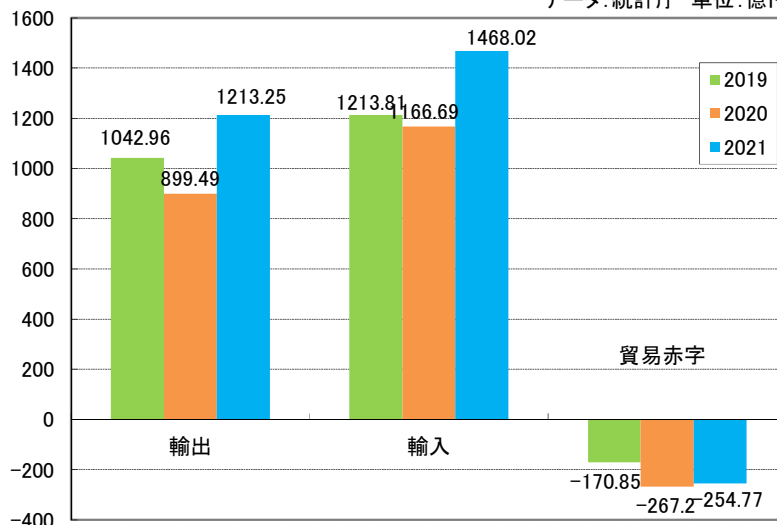
データ:中央銀行 単位:億ドル

内訳	2020年1-6月(A)	2021年1-6月(B)	増加率 ((B-A)/A)
経常収支	▲ 212.26	▲ 136.01	35.9%
貿易収支(物品)	▲ 182.66	▲ 133.66	26.8%
サービス収支	26.03	56.28	116.2%
旅行収支	27.23	40.87	50.1%
第1次所得収支	▲ 51.72	▲ 64.75	▲ 25.2%
第2次所得収支	▲ 3.91	6.12	256.5%
労働者送金	0.70	0.79	12.9%
資本移転等収支	▲ 0.20	▲ 0.19	5.0%
金融収支	▲ 231.24	▲ 49.04	78.8%
直接投資	▲ 22.40	▲ 25.22	▲ 12.6%
証券投資	127.01	▲ 19.19	▲ 115.1%
その他投資	▲ 34.67	▲ 77.27	▲ 122.9%
外貨準備	▲ 301.18	72.64	124.1%
誤差脱漏	▲ 18.78	87.16	564.1%

貿易収支(1-7月)

(1) 1-7月の輸出額は1,213.25億ドル(前年同期比34.88%増)、輸入額は1,468.02億ドル(同25.83%増)となり、この結果、貿易収支は254.77億ドルの赤字(同4.65%赤字幅縮小)となった。
 (2) 1-7月の輸出額におけるEU向け輸出の占める割合は41.9%(前年同期は41.2%)、輸入額におけるEUからの輸入の占める割合は33.5%(前年同期は32.3%)となっている。

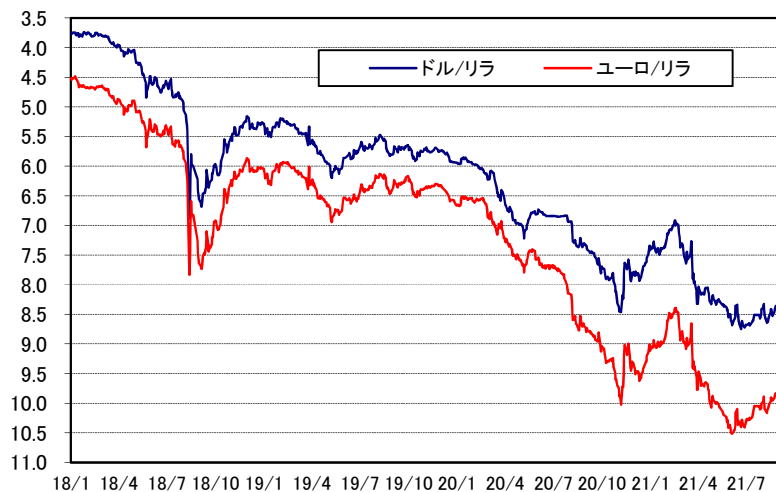
データ:統計庁 単位:億ドル



為替(8月)

エルドアン大統領の利下げ要請発言を受け、リラ安が進行したものの、金融政策委員会(12日)は市場予測どおり政策金利を据え置いたことや、ドル安等の影響もあり、リラは上昇。8月末は1ドル=8.30リラ(前月末比1.3%高)、1ユーロ=9.82リラ(同1.9%高)となった。

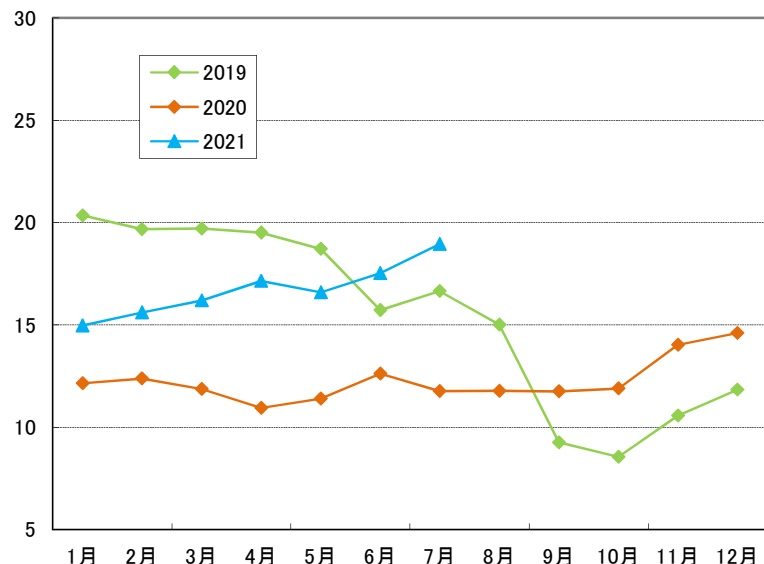
データ:中央銀行 単位:リラ



消費者物価上昇率(7月)

(1)7月の消費者物価は前年同月比18.95%増、前月比1.80%増。
 (2)項目別にみると、前年同月比24.92%で食品・非アルコール飲料が、前月比5.07%で住宅が最も上昇した。
 (3)2021年末のインフレ率の中銀目標(7/29時点)は前年同月比14.1%。
 (4)国内生産者物価指数は前年同月比44.92%増、前月比2.46%増となった。

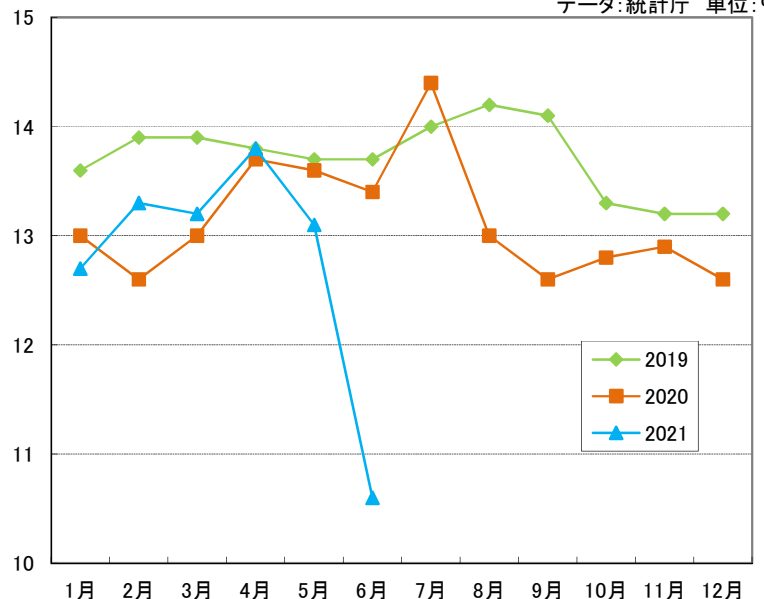
データ:統計庁 単位:前年同月比(%)



失業率(6月)

(1)6月の失業率(季節調整後)は10.6%。前月から2.5ポイント、前年同月から2.8ポイントそれぞれ減少。
 (2)労働力人口は3198.4万人、就労者数は2858.6万人、失業者数は339.9万人。
 (3)男性の失業率は9.0%、女性は14.1%。若年層(15-24歳)の失業率は22.7%となっている。

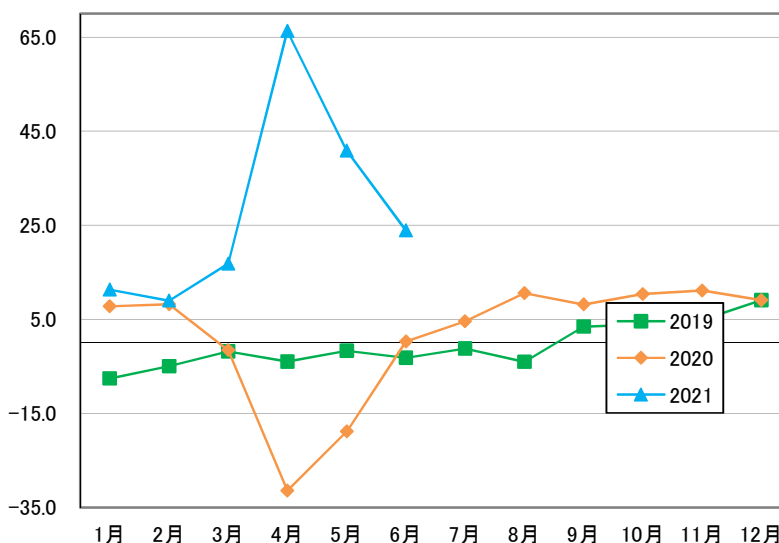
データ:統計庁 単位:%



鉱工業生産(6月)

(1)6月の鉱工業生産指数は、前年同月比(日数調整後)23.9%増、前月比(季節及び日数調整後)2.3%増。
 (2)分野別では、耐久消費財が前年同月比30.9%増、資本財が同25.0%増、中間財が同28.3%増となった。

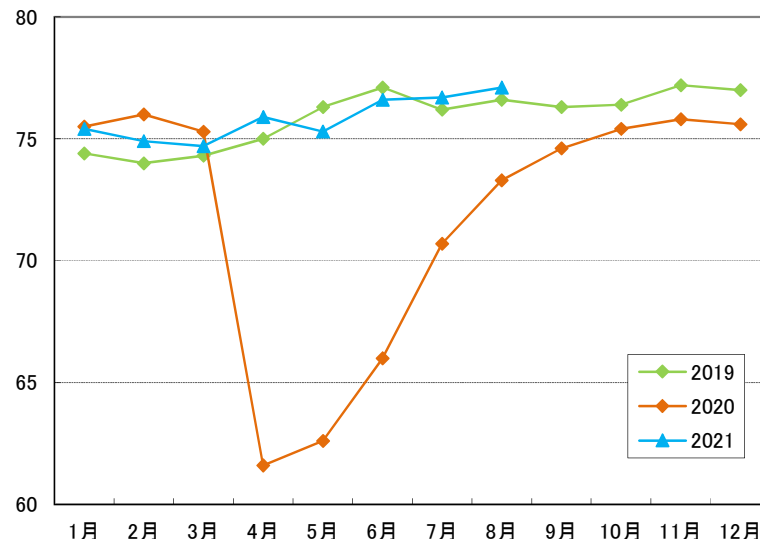
データ:中央銀行 単位:前年同月比(%)



設備稼働率(8月)

(1)8月の設備稼働率は77.1%となり、前年同月から3.8ポイント上昇し、前月から0.4ポイント上昇。
 (2)製造業の分野別では、材木、木製品及びコルク製品製造業(家具を除く)(84.5%)が最も稼働率が高く、皮革及び関連製品(59.8%)が最も低い稼働率であった。

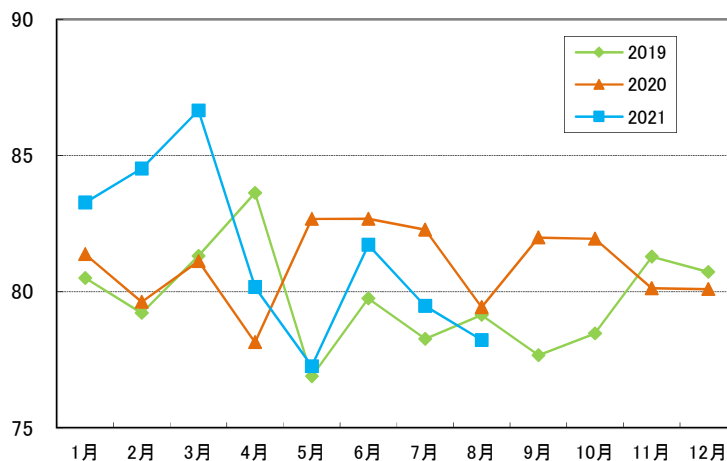
データ:中央銀行 単位:%



消費者信頼感指数(8月)

(1)8月の消費者信頼感指数(季節調整値)は78.2ポイントで、前月から1.6ポイント低下。
 (2)内訳では、「今後12か月間の家計の財政状況見通し」及び「今後12か月間の一般経済状況見通し」が低下したものの、「現在の家計の財政状況」及び「今後12か月間の耐久消費財への支出見通し」の項目は前月から上昇した。

データ:統計庁 単位:ポイント



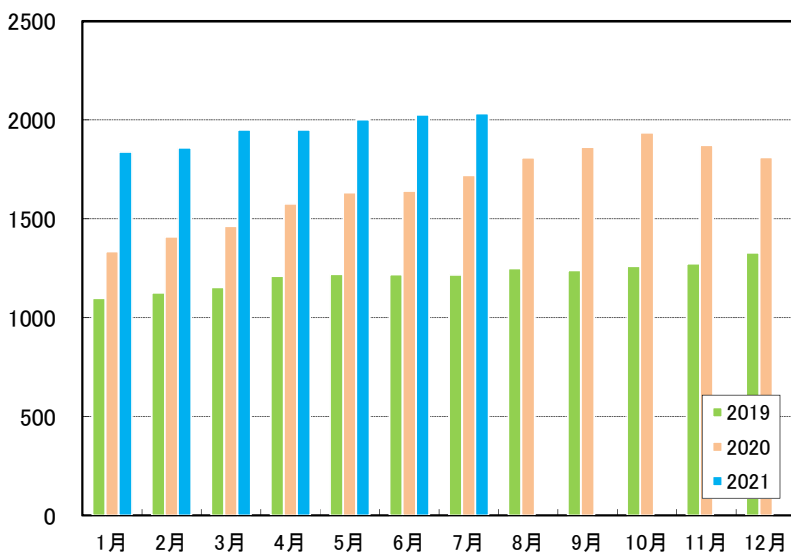
中央政府債務残高(7月)

(1)7月末時点での中央政府債務残高は2兆323億リラとなり、前月比0.3%増、前年同月比18.1%増となった。

(2)また、国内債務比率は56.7%、自国通貨債務比率は42.8%(2020年末は43.8%)となっている。

(3)なお、債務残高のうち円は1.5%で、外貨ではドル、ユーロに次ぐ地位を占めている。

データ:財務省 単位:10億リラ

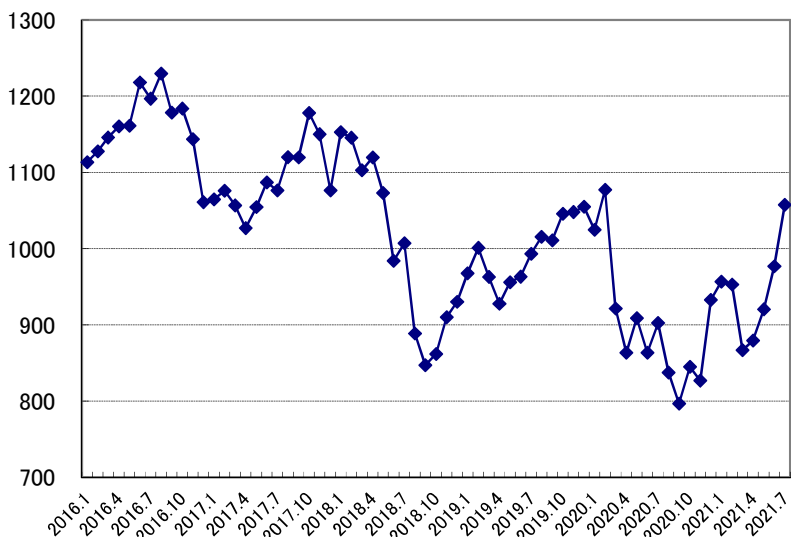


外貨準備高(7月)

(1)7月末時点での中央銀行の外貨準備高(金を含む)は1,057.6億ドルとなった。

(2)前月から80.68億ドル増加し、4ヶ月連続の増加となった。

データ:中銀 単位:億ドル

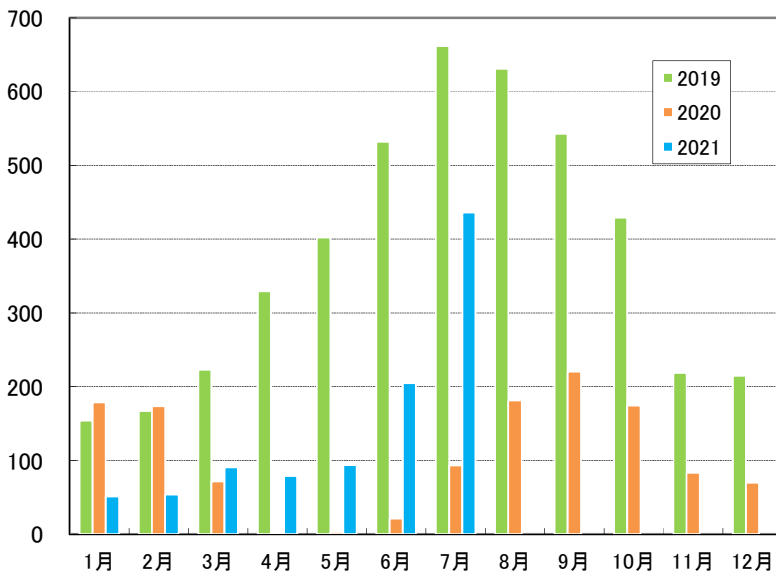


外国人訪問者数(7月)

(1)7月の外国人訪問者数は4,360,952人で、前年同月比367.45%増。日本は650人であった(前年同月は253人)。

(2)国別ではロシアが最も多く、807,753人で全体の18.52%を占め、以下、ドイツ(744,372人)、ウクライナ(344,999人)となっている。

データ:文化観光省 単位:万人

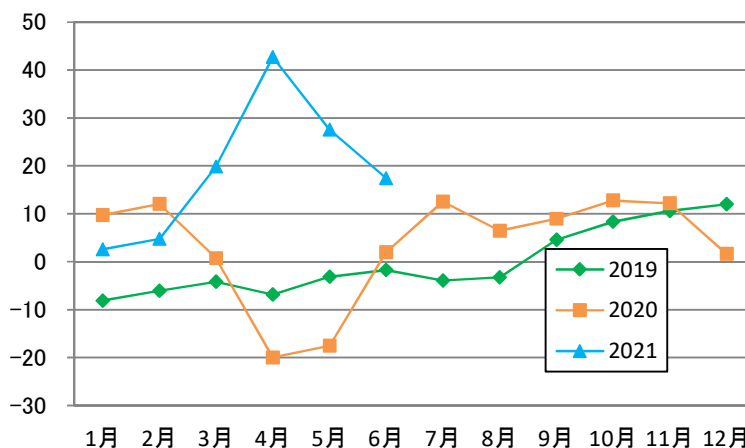


小売売上高(6月)

データ:統計庁 単位:前年同月比(%)

(1)6月の小売売上高は前年同月比(日数調整後)17.4%増、前月比(季節及び日数調整後)14.4%増。

(2)内訳は食品・飲料・タバコが前年同月比6.6%増、繊維・衣料が同54.1%増、コンピュータ・書籍・通信機器が同13.1%増、となった。

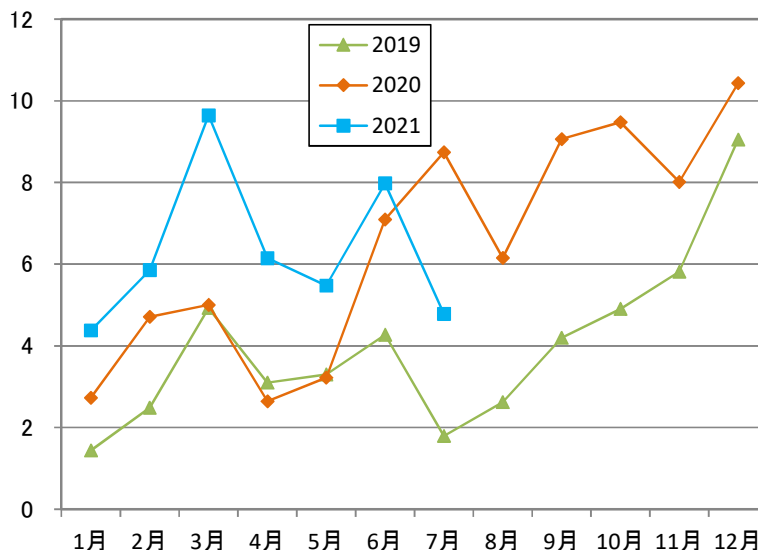


新車販売台数(7月)

データ:自動車販売協会 単位:万台

(1)7月の新車販売台数は47,849台で前年同月比45.3%減。

(2)7月の内訳は乗用車が36,311台(前年同月比47.7%減)、小型商用車が11,538台(同35.8%減)となった。



住宅販売戸数(7月)

データ:統計庁 単位:万戸

(1)7月の住宅販売戸数は107,785戸で前年同月比53.0%減となった。

(2)7月は新築が32,672戸(前年同月比51.9%減)、中古が75,113戸(同53.5%減)。

(3)7月の住宅ローンでの購入は20,553戸(前年同月比84.3%減)、その他が87,232戸(同11.6%増)。

